

第22回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

- 日 時 平成31年3月18日（月）午後2時45分～午後3時45分
- 場 所 宇都宮市役所 14階 大会議室
- 内 容
- 1 開 会
 - 2 あいさつ（森本委員長）
 - 3 報 告
 - ・ L R T車両や各種施設デザインの検討結果について
 - 4 議 題
 - ・ J R宇都宮駅西側L R T整備の検討の進め方について
 - 5 そ の 他
 - 6 閉 会

【主な発言の要旨】

3 報告

- ・ L R T車両や各種施設デザインの検討結果について・・・資料1

【事務局】

- ・ 資料1 説明

【委員長】

- ・ L R Tデザイン部会の部会長である吉田委員から補足をいただきたい。

【吉田委員】

- ・ L R T車両の内装については、車両部会での技術的な検討を踏まえ、デザイン部会での意見をいただきながら、車両外観デザインと同様に、独自性・雷の光・先進性に配慮してまとめさせていただいた。また、全ての利用者が快適、便利に利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮したものとしている。
- ・ 停留場などの施設関係についても、車両を引き立たせるシンプルなデザインとした上で、大谷石といった地場産材を使用し、地域性を表現するものとしている。
- ・ 車両の製作や施設整備に当たっては、今回提示した内容をベースに進めさせていただく予定であるが、平成31年度は、引き続き、デザイン部会においてサイン計画や停留場の壁面個性化などの検討を進めていく予定であり、適宜、芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会に報告させていただきたいと考えている。

【委員長】

- ・ 各種施設デザインを見させていただくと、少しずつ具体的なイメージが湧いてくる。

- ・ 市民・町民に愛されるような乗り物になっていただくためにも重要な視点である。
- ・ 本日欠席の岸井委員から何かコメントをいただいていたら紹介願いたい。

【事務局】

- ・ 岸井委員からのコメントを報告させていただく。
- ・ 停留場については、今後、市民参加を得ながら、LRTとしての一体感とともに地域の個性を反映するデザイン的な工夫を施し、住民に親しまれる施設となることを期待している。
- ・ また、トランジットセンターについては、雨にぬれずに乗り換えができるなど、周辺施設との乗り換え利便性の向上や、停留場を含めたその周辺全体の景観的調和など、一段階掘り下げた議論ができると良い。

【委員長】

- ・ その他、皆様から意見等あればお願いします。

【行政アドバイザー】

- ・ ICカードリーダーについて、分かりやすく立派なものであると認識している。
- ・ 一方で、ICカードを使用せず、現金乗車の場合など、乗客への乗車方法の周知や運転士のところまで、どのような案内になるのかを伺いたい。

【事務局】

- ・ 今回、LRTのメインの運賃収受システムであるICカードリーダー配置について、検討状況を報告させていただいたところである。
- ・ 今後、現金対応を含め、ICカードを持たない人の補助システムについて、LRT車両部会の中で、引き続き、検討していきたいと考えている。
- ・ 補助システムの方法と併せ、運転士までの案内や収受の方法などを検討していきたいと考えている。

【委員長】

- ・ その他、皆様から意見等あればお願いします。

【行政アドバイザー】

- ・ ICカードリーダーの配置も含め、全て新しい乗り物という形になる。
- ・ その中で、JRのように視覚障がい者の方が利用される場面もあると思うので、視覚障がい者の方の意見なども取り入れながら、様々な方がLRTを利用しやすいようなデザインなどで配慮していただければと考えている。

【事務局】

- ・ 関係者と話をさせていただきながら、検討を行っていく。

【委員長】

- ・ バリアフリーが利点なので、しっかり対応していただきたい。
- ・ 報告事項であるが、運転手までの案内方法などの検討が進み次第、事務局から報告していただくことでよろしいか。

【各委員，了承】

4 議題

- ・ JR宇都宮駅西側LRT整備の検討の進め方について・・・資料2

【事務局】

- ・ 資料2 説明

【委員長】

- ・ 本日欠席の岸井委員から何かコメントをいただいていたら紹介願いたい。

【事務局】

- ・ 岸井委員からのコメントを報告させていただく。
- ・ 駅西側LRT整備の事業化に向けては、多くの検討課題があるが、まずは、「交通結節点等基盤整備部会」の中で、駅西口駅前広場の議論を優先的に進め、関係者との調整を進めていく必要がある。

【委員長】

- ・ その他，皆様から意見等あればお願いします。

【望月委員】

- ・ 質問を1点，意見を1点述べさせていただく。
- ・ 質問だが，別紙1に駅西側LRT整備と主な関連プロジェクト【位置図】があり，全体像が示されていると思う。この中で【広範囲にわたる検討】で，バスネットワーク再編の検討があり，交通結節点をどのように作っていくのか，あるいは，導入空間の大通りのところで，先程，事務局からの説明があったように，道路の車線を減らすことや道路の横断構成を変えていくということと言うと，バスネットワークをどのように整理していくのかということを前提にしながら，議論をしていかなければいけないので，バスネットワーク再編の検討は非常に重要なポイントである。

- ・ **別紙 2-1** に、これから L R T 事業に係る庁外検討組織があり、この中で、バスネットワーク再編の検討は、どこの組織で検討されるのか伺いたい。
- ・ 次に意見として、先程、岸井委員から意見があったが、**別紙 1** のように駅西側は L R T を整備するだけでなく、宇都宮市の中心部をこれからどのようにして作っていくのかに等しいような課題であると思う。
- ・ 短期的な話しから、長期的にわたる課題まで、幅広い議論が必要であると思う。そのような意味で言うと、課題が非常に多くある中で、どのような順番で議論をしていくのかということをよく整理し、全体を進めていかなければ、課題が非常に多いだけに、混乱してしまうのではないかと懸念がある。
- ・ また、**別紙 2-1** にある組織を設立して検討していくということであるが、それぞれの部会の中で、課題ごとに、どのような順番で解決していくのかという意味でのスケジュールを作成していくのが非常に大切である。
- ・ **資料 2** の今後のスケジュールにおいては、例えば、ある一定の目標を決めて、どのような形で議論をして、課題を解決していくのかという戦略的なものがあれば伺いたい。
- ・ 次回の芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会においては、今後、このような全体像で戦略を進めて行くということを事務局から説明していただければと思う。

【事務局】

- ・ 意見の方から回答させていただく。
- ・ 駅西側については、望月委員の指摘のとおり、中心市街地ということで、課題があり、どこからどのように進めて行くのかということの検討事項も多く、重要な事項が多い地域であると認識している。
- ・ どこから進めるといった具体的な考えが決まっているわけではないが、部会を設立するに当たっては、今後の進め方について、我々の方でも、庁内検討組織の中で、議論をしながら、課題の方向性を見出していきたい。
- ・ 次回の芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の中では、今後の進め方などについてもある程度の説明ができるように、検討を深めていきたいと考えている。
- ・ 次に質問についてであるが、L R T を駅西側に通すに当たっては、バスネットワーク再編が重要な課題であると認識している。
- ・ 現在、交通政策課において、基本的な事項を整理しており、我々も併せて、協議を行っているので、今後も、上手く連携しながら、バスネットワーク再編の検討を深めていきたいと考えている。

【望月委員】

- ・ バスネットワーク再編の検討については、具体的に、**別紙 2-1** のどこの組織で検

討を進めるのか。

【事務局】

- ・ 現段階では、**別紙2-1**にあるどの部会でということ想定して決めているわけではないが、今回、新設する部会の中で、内容により、どちらの部会で検討を行うのがふさわしいかは、今後、検討していく。

【委員長】

- ・ 内容によっては、芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の外に出ている案件もあると思うので、そのような案件に対して、どのような横の連携をとっていくのが課題である。
- ・ バスネットワーク再編の検討についても、連携をとるのか、あるいは、この中に、そのような議論をする場を設けるのかを含めて、検討していただきたい。
- ・ その他、皆様から意見等あればお願いします。

【中尾委員】

- ・ 西側の延伸については、これまでの東側の延伸とまったく性質が違う。
- ・ バスが1日に大工町付近を約2,000台通り交通量が多い。このような中で、西側のバス再編をどのように整理し、大通りの交通量を軽減するのか。また、その軽減策もある程度、見えてこないか、3車線を2車線に、2車線を1車線にということで行っていきくと、商店街の方で荷捌きの問題であるとか、タクシーベイの問題であるとか、いろいろな要望点が出てくると思う。
- ・ このような中で、駅西側の整備にあたり、1番のキーポイントとなるのは、商店街の方々との協議をいかにスムーズに行っていくのかということだと思う。
- ・ **別紙2-1**では、そのような記載がないが、商店街との意見交換はどのように考えているのか。

【事務局】

- ・ 指摘のとおり、大通りに通すLRTについては、商店街との意見交換などが非常に重要であると考えている。
- ・ 他都市の事例を見ると、商店街との協議や意見交換をしっかりと行いながら、道路の再編にも取り組んでいる。
- ・ 我々もそのような取り組みができるように行っていきたい。まずは、LRTのまちづくり部会がこのような役割を担うことになると思うが、我々の方でも、地元商店街と意見交換をしているところなので、このような場を活用しながら、意見交換を行っていきたい。

【内野委員】

- ・ まちづくりの商業振興は、にぎわいができるかどうか、そこが1番大事なところである。
- ・ LRTが駅西側を通ることでまちづくりの商業振興にもなると思うが、宇都宮市としても商業振興に対しては、近年、商業の変革が激しいことから、考えていかないといけない。
- ・ 検討する組織を行政の方で、上手く組み立て、まちづくりに覚悟を持って取り組んでいただきたい。

【事務局】

- ・ 指摘のとおり、LRTをきっかけに商店街との連携、商業振興、あるいは、にぎわいの創出が必要であると認識しており、来年度、「第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」の改定に取り組む中で、商店街と連携しながら、にぎわいの創出や商業振興といった点も含め、LRTまちづくり部会と連携をしながら、検討を進めていきたいと考えている。

【行政アドバイザー】

- ・ 駅西側については、LRTの延伸ありきではなく、LRTの延伸の必要性ということも議論するということがよろしいか。

【事務局】

- ・ 本市のLRTについては、桜通り十文字付近～宇都宮テクノポリスセンター地区を計画区間にしており、宇都宮駅西側から桜通り十文字付近は、LRTが必要な区間として基本方針に位置づけているところである。
- ・ 桜通り十文字付近からのさらなる延伸については、庁内で検討し、まちづくり部会の意見も伺いながら、必要性を含め、検討を進めていきたいと考えている。

【委員長】

- ・ 委員の皆様から貴重な意見をいただくとともに、今回の2つの部会の設立は、非常に大切であると認識している。
- ・ 一方で、駅西側のLRTは、基本方針で定めた駅西側から桜通り十文字付近の3kmがいつ頃を目途に開通するのかによって変化する。ある程度、ゴールを決めて、そのゴールから逆算したときに、来年度は何をしなくてはならないのか、あるいは、事業認可を取得するのにどれくらいの時間かかるのか、さらに言えば、駅前広場を改良しなくてはならないので、JR宇都宮駅を横断する工事もあり、駅前広場を工事するとなれば、バスの発着にも関わるので、全部が絡み合っており、何ができない

と、次ができないような構造になっている。

- ・ このようなことを、次回以降、整理していただいて、どのようなスケジュール感で、何をゴールにして、我々は議論していくのかということをはっきりとさせていただきたい。
- ・ まちづくりの方は、ゴールはないと思っており、まちづくりは、常に取り組んでいかなければならないので、地域住民、交通事業者などと十分に議論しながら、一步一步、着実に進めていただきたい。
- ・ 本日、議論していただいた2つの部会では、ゴールを中長期的に行っていくものと、目標に向かって走らなければならない2つが混合しているので、この辺をどのように整理していくのかということがある。
- ・ 本日、事務局から説明していただいた別紙2-2のLRTを活用したまちづくりの庁内検討組織を見ると、必ずしも交通だけではなく、健康・福祉、教育、産業といった各分野が全て入っている組織であることから、このような組織とどのように連携をし、具体的な案を出していけるかが、大きなカギになる。
- ・ 引き続き、庁内組織での検討を行っていただきたい。

【吉田委員】

- ・ 各委員の皆様からいただいた意見については、我々も身に染みて事の重さを実感している。
- ・ バスネットワーク再編も大切であり、バスネットワーク再編によって駅前広場も変わり、それに伴い大通りの空間も変わってくることから、これらをどのような順番でどのように決めていくのか、決めかねているところである。
- ・ 今回、他都市の事例を紹介させていただいたが、このような都市は課題を乗り越え、実現している都市であることから、我々も先進事例にならば、各委員の皆様からいただいた意見を参考に着実に進めていきたいと考えている。
- ・ そのためには、できるだけ多くの方々の参画が必要であり、まちづくり部会では、多くの人に参画していただくことになると思う。
- ・ 大きなゴールを見据えて、一步一步、着実に進めていきたいと考えている。

【委員長】

- ・ 議題の「JR宇都宮駅西側LRT整備の検討の進め方について」は、概ねこの方向で取り組んでいくということによろしいか。

【各委員、了承】

【委員長】

- ・ 最後に事務局から連絡事項などがあればお願いします。

5 その他

【事務局】

- ・ 次回の検討委員会については、後日、改めて案内させていただく。

【事務局】

- ・ 以上で、本日の会議を終了する。

以上